

2014年度 第4回 研究会

東日本大震災後の 復興過程に関わる 地域社会比較と 民族誌情報の応用

<http://www.cneas.tohoku.ac.jp/unit/takakura26>

日時 2015年1月10日(土) 11:00～18:00
場所 東北大学 川内キャンパス
東北アジア研究センター・大会議室
(4F 436室)

11:00 開始

1. 11:00-11:20
及川高 「「よすが」を考える——震災をめぐる経験と物質としての記憶」
2. 11:20-11:40
梅屋潔 「 (表題未定 ※気仙沼市) 」
3. 11:40-12:00
小谷竜介 「雄勝地区における芸能を巡る同行」
4. 12:00-12:20
植田今日子 「 (表題未定 ※気仙沼市) 」
5. 12:20-12:40
酒井朋子 「場のもつ記憶の現象学——メモリアル史から見る震災碑」
【12:40-13:40 (60分) 昼休み】
6. 13:40-14:00
山口未花子 「3年目の祭り
:被災後の牡鹿半島における祭りと人々の生活にみる変化」
7. 14:00-14:20
兼城糸絵 「震災の記憶を語り合うこと——セヶ浜町の事例から」
8. 14:20-14:40
大友和佳子 「農家レストランの現代的意義と今後の可能性」
9. 14:40-15:00
滝澤克彦 「震災4年目の行事と祭礼——岩沼市蒲崎地区の場合」
10. 15:00-15:20
稲澤努 「再生しない「地区」において、再開する「民俗」が担うもの
——山元町の「復興」過程における調査から」
【15:20-15:40 (20分) 休憩】
11. 15:40-16:00
木村敏明 「被災地における霊体験と宗教者の対応」
12. 16:00-16:20
山口睦 「県境と放射能問題——宮城県丸森町筆甫地区を事例として」
13. 16:20-16:40
堀川直子 「ポストフクシマ、家族離散と希望:広域避難者たちの現状と課題」
14. 16:40-17:00
高倉浩樹 「津波被災地の農業復興と農民の在来知」
15. 17:00-17:20
岡田浩樹 「復興による「機能的」な町は何をもたらしたか
——阪神淡路大震災震源地兵庫県淡路市北淡地区の20年間——」

17:30-18:00
総合討論

※表題・時間につきましては変更となる場合があります

主催：
東北大学東北アジア研究センター
「東日本大震災後の復興過程に関わる
地域社会比較と民族誌情報の応用」

※参加費・事前申し込み等不要。お問い合わせは下記まで。

【事務局】

東北大学 東北アジア研究センター 及川高(教育研究支援者)
tel 022-795-3621 e-mail t_oikawa@cneas.tohoku.ac.jp